令和８年１１月定例記者会見

令和８年１０月３０日（金）午前１１時００分～

＜主な発表項目＞

第３次総合計画策定に向け、１０月に市民意見交換会を４か所(中学校区)で開催した。第２次計画が１０年目を迎える中、感染症や災害、AI 等の予測困難な変化に対応する柔軟なまちづくりを推進する。市民アンケートで７８％の方から本市での暮らしに満足であると評価いただき、既存の将来像を継承しつつ「ときめき なごやか みらいもずっと」を新たに掲げ、産業と福祉の調和を図りながら市民の皆様と行政が協働して、持続可能なまちづくりを推進していく。

○秋の剪定枝リサイクル大作戦

１１月２７日（金）～２９日（日）の３日間、秋の剪定枝リサイクル大作戦を実施する。

剪定の適期でもある１１月に屋敷林剪定枝を拠点で収集し、その処理費用を全額市が負担することで、①屋敷林所有者の経済的負担を軽減、②野焼きによらない処理の普及と環境保全の効果を見込んでいる。今年３月から渋滞解消のため、２日間から３日間へ日数を増やしており、今回は初めての平日開催として実施する。収集した剪定枝は、市がリサイクル処理施設に直接運搬し、全て堆肥等としてリサイクルしており、資源を地域で循環させる自然に優しい取り組みとなっている。今後も連携し一体となって、屋敷林保全支援に取り組んで行きたい。

○チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション２０２６

砺波チューリップ公園周辺を約１０万球の光で装飾する「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション 2026」を１２月１日（火）から１２月２５日（金）まで開催する。

今年のテーマは「KIRAKIRA Fantasy」。新たに KIRAKIRA ドームを使用した「星屑のシンデレラ　キャリッジ」、円形花壇を使用した「光のチューリップゴーランド」が登場する。

「点灯カウントダウン」を１２月１日（火）１８時～チューリップ公園北門付近で行う。

１２月１９日(土)、２０日(日)１７時～２２時までチューリップステージにおいて「プロジェクトマッピング(金沢工業大学 DK art cafe プロジェクト)」を実施する。

○イルミネーション装飾ボランティア「光の応援団」募集

イベントでは、協賛金などイベント成功のために協力してくださる「光の応援団」を大募集しており、「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション 2026」に向けて、LED イルミネーションの装飾にご協力いただけるボランティアを募集する。

実施日時は１１月２２日（日）８時３０分～１１時３０分で、砺波チューリップ公園及びその周辺で装飾を行う。例年、企業・事業所や団体、高校生の皆さんにご協力をいただいている。

○チューリップ球根生産者確保大作戦(第３弾)「日本一を守る　本気で就農体験会」

本市は日本一のチューリップ球根出荷量を誇るが、直近１０年間で生産者が１２名離農しており、産地の維持が課題となっている。この対策として、１１月７日(土)～８日(日)に球根の植え付けを実際に体験していただく「本気で就農体験会」（第３弾）を開催する。現在、奈良県からの移住予定者１組２名が参加確定しており、当日は、チューリップの球根植え付け体験を予定している。

○令和９年度砺波市当初予算編成方針

令和９年度は、第３次総合計画がスタートする重要な節目の年度である。将来像「ときめき なごやか みらいもずっと」の実現に向け、５つの基本方針に基づく施策を着実に始動するとともに、人口減少や社会経済情勢の変化に的確に対応していく。

予算規模は、一般会計当初予算で 260 億円余り（前年度比 12 億円増）を見込んでいる。一般財源ベースでは 176 億円余りで、人件費や燃油価格、資材費の高騰により経常経費が増大しているためである。

編成にあたっては、「DX」「GX」「市民協働」を全ての施策に共通する視点として取り入れ、限られた人的リソースや財源を効果的に配分する。

また、既存事業の見直しにより新たな財源を確保し事業を創出する「リボーン推進枠 NEXT」を活用し、第３次総合計画の着実なスタートと人口減少への適応を進めていく。